

日本小児耳鼻咽喉科学会会誌投稿規定

1. 本誌は小児耳鼻咽喉科領域に関連があり他誌に発表されていない論文に限る。本誌の投稿者の筆頭者は日本小児耳鼻咽喉科学会会員に限り、共著者も含めて原則として日本小児耳鼻咽喉科学会会員に限る。
2. 論文の投稿は投稿規定および執筆要項に従い、電子投稿システム「**ScholarOne Manuscripts™**」で行う。実際の投稿の仕方は、投稿webサイトの投稿マニュアルに記載してあるので参照のこと。
投稿 web サイト <http://mc.manuscriptcentral.com/poj>（日本小児耳鼻咽喉科学会ホームページより移動可）。
3. 投稿原稿は日本小児耳鼻咽喉科学会編集委員会が委託する査読者による査読を受ける。掲載の可否は同編集委員会において決定される。投稿規定以外に関わる事項についてはその都度編集委員会で協議する。
4. 掲載された論文の著作権（複製権，公衆送信権を含む）は日本小児耳鼻咽喉科学会への委譲となる。これらは科学技術振興機構（JST）へ許諾され，電子化されてインターネット上で公開される。
5. 査読後の原稿受理年月日をもって原稿受理年月日とする。原著論文の掲載費用は規定枚数を越えた分の印刷費，カラー印刷を希望する場合のカラー印刷費を投稿者負担とする。ただし，学術講演会特別企画の記録，論文についてはこの限りではない。別刷は30部までを無料とし，それ以上は有料とする。

執筆要項

(1) 原稿作成に当たっては，その内容の倫理性に十分配慮すること。人を対象とする医学系研究についてはヘルシンキ宣言を遵守するとともに，内容に応じてインフォームド・コンセントを明記する。個人情報保護法等に抵触しないように充分配慮すること。個人を同定しうる顔写真等を掲載する場合には，目などをカバーし，承諾を得ること。本文中の日付の表記は避け，「△日後」などの表現方法とすること。当該研究が各施設内の倫理委員会の承認のもとに行われたことを明記すること。当該研究に利益相反に関連する事項がある場合には，それを本文の末尾に記載すること。

(2) 原稿は和文とし，原著，症例報告，もしくは総説とする。

(3) 原稿は A4 判用紙に横書きとする。1 行は横 40 字、縦 20 字として 1 頁 800 字とする。各頁下に頁数を必ず記載すること。原稿は刷りあがり 6 頁までを原則とし、6 頁を超えた分は投稿者負担とする。刷りあがり 1 頁は 1600 字に相当し、図表は原則として 1 枚 400 字換算とする。

(4) 原稿の表紙 (0 頁) には表題, 15 字以内の略題 (ランニングタイトル), 英文タイトル, 著者 (ふりがな付き), 所属機関名, 所属機関住所, 希望別刷冊数, 別刷請求先, 著者連絡先電話番号, ファックス番号, 電子メールアドレスを明記すること。

(5) 原稿 1 頁目は英文要旨とする。英文抄録は 300 語以内とし, タイトル, 著者名, 所属機関名, 5 語以内の英文キーワード, 本文の順に記載する。要旨は **native speaker** によるチェックを受けたものに限る。なお, 総説および学術講演会特別企画の記録としての論文については英文要旨 (本文) のみ不要とし, 英文のタイトル, 著者名, 所属機関名, キーワードを記載する。

(6) 原稿 2 頁目 (英文要旨の次頁) は和文要旨とし, 5 語以内の和文キーワードと 400 字以内の和文要旨を記載すること。

(7) 図表は原則としてトレースの必要がなく, そのまま印刷できる状態にすること。学会発表時のパワーポイントファイルをそのまま投稿することは避けること。図表の挿入箇所を原稿の本文中に指示すること。

(8) 文献は引用順に引用箇所の右肩に「ooの報告¹⁾によると…」のように文献番号を付けること。引用文献数が複数の際は^{10,11,13)}のように番号すべて記載、スペースなしカンマのみ、括弧は最後 1 つ、上付きにて記載すること。

(9) 文献は下記形式による。著者数は 3 名までとしそれ以上の場合は邦文では, 他: とし, 欧文では, **et al.:** を用いて省略する。和文であっても欧文であっても著者間はコンマ, 著者と論文タイトルの間はコロン (:), 論文タイトルの最後はピリオド, 雑誌名にはピリオド不要, 論文集の書名にはピリオドを付ける。ページの後にはピリオドとする。号数は省略せず記載することが好ましい。ページ数も 361-8. と省略せず 361-368. と記載する。

邦文雑誌名は省略せずに書く。欧文雑誌名は **Index Medicus (Medline)** の省略方法に準じる。

英文タイトルは文頭のみ大文字, 以降の一般語は小文字とする。

投稿中の論文に関してはすでに受理されたものに限る。

●邦文誌例

田中 学, 安達のどか, 浅沼聡, 他: 両側性高度感音難聴を伴った広汎性発達障害の特徴. 小児耳鼻咽喉科 2011; 32 (1): 9-95.

●欧文誌例

Iino Y, Tomioka-Matsutani S, Matsunaga A, et al.: Diagnostic criteria of eosinophilic otitis media, a newly recognized middle ear disease. *Auris Nasus Larynx* 2011; 38 (4): 456-461.

Misawa K, Imai A, Sugiyama K, et al.: A right-Sided fourth branchial cleft cyst: A case report. *Int J Pediatr Otorhinolaryngol* 2011; 75 (3): 438-440.

●邦文論文集例

古賀慶次郎: 小児耳鼻咽喉科学の歴史. 小児耳鼻咽喉科診療指針. 第1版. 日本小児耳鼻咽喉科学会 編, 金原出版; 2009: 2-5.

●欧文論文集例

Murofushi T: Acoustic neuroma and other cerebellopontine angle tumors: detecting a neoplasm in the cerebellopontine angle. *Vestibular evoked myogenic potential*, Murofushi T, Kaga K. eds. Springer; 2009: 83-91.

(10) オンライン投稿においては、下記をアップロードする。

1. 表紙, 英文抄録, 本文, 文献, 図表の説明, および表から成る Word ファイル
2. 著作権譲渡同意書をスキャンした PDF ファイル
3. 図の JPEG, TIFF, GIF, AI, EPS, もしくは PSD ファイル

(11) オンライン投稿ができない場合、下記に問合せの上、郵送など他の手段にて投稿することができる。

お問い合わせ先：

1. 小児耳鼻咽喉科編集業務委託

小宮山印刷工業株式会社

〒162-0808 東京都新宿区天神町 78

電話：03-3268-0099

FAX：03-3268-3023

E-mail：poj-ed@tokyo.kopas.co.jp

2. 編集担当理事・編集委員長 鈴木雅明

帝京大学ちば総合医療センター耳鼻咽喉科

E-mail：suzukima@med.teikyo-u.ac.jp